

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成26年9月30日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成26年10月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【9月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

9月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年を上回る入荷となった。

「前年をかなり上回った」のは、なすの1品目である。

「前年を上回った」のは、だいこん、キャベツ、ねぎ、レタス、きゅうり、ピーマン、たまねぎの7品目である。

「前年をやや上回った」のは、はくさい、ほうれんそうの2品目である。

「前年並み」は、にんじん、トマト、ばれいしょの3品目である。

「前年を大幅に下回った」のは、さといもの1品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、9月の野菜価格は、総じて前月平均をやや下回る価格となった。

「前月平均をかなり上回った」のは、はくさい、レタス、トマト、ピーマンの4品目である。

「前月平均を上回った」のは、だいこん、きゅうり、なす、さといもの4品目である。

「前月平均をやや上回った」のは、キャベツの1品目である。

「前月平均をやや下回った」のは、にんじんの1品目である。

「前月平均を下回った」のは、ほうれんそう、ねぎ、ばれいしょの3品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、たまねぎの1品目である。

【10月の見通し】

① 入荷量の見通し

10月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、近畿及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年並みの入荷が見込まれる。

「前年並み」は、北海道主体のはくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、トマト、ピーマン、ばれいしょ、たまねぎ、茨城県、群馬県及び高知県主体のなす、埼玉県、千葉県及び宮崎県主体のさといもの11品目である。

「前年をやや下回る」のは、北海道主体のだいこん、きゅうりの2品目である。

「前年を下回る」のは、北海道主体のにんじんの1品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、10月の野菜価格は、総じて前月平均を下回る価格が見込まれる。

「前月平均をやや上回る」のは、トマトの1品目である。

「前月平均並み」は、にんじん、きゅうりの2品目である。

「前月平均をやや下回る」のは、キャベツ、ねぎ、さといもの3品目である。

「前月平均を下回る」のは、だいこん、ほうれんそう、なす、ピーマン、ばれいしょの5品目である。

「前月平均をかなり下回る」のは、はくさい、たまねぎの2品目である。

「前月平均を大幅に下回る」のは、レタスの1品目である。

※ この資料の内容は、9月29日（月）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	10月の入荷量			10月の卸売価格			10月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	
だいこん	=	△	△	△	=	○	北海道(99.2%)
にんじん	○	△	△	=	△	△	北海道(100.0%)
はくさい	○	=	=	△	○	=	北海道(100.0%)
キャベツ	○	=	△	△	=	○	北海道(97.4%)
ほうれんそう	○	=	△	△	△	=	北海道(100.0%)
ねぎ	=	=	△	△	△	△	北海道(99.9%)
レタス	△	=	○	△	△	△	北海道(60.0%)
きゅうり	△	△	△	=	=	○	北海道(87.8%)
なす	△	=	△	△	=	○	高知(47.0%)、茨城(38.7%)、群馬(9.0%)
トマト	△	=	○	○	=	=	北海道(98.7%)
ピーマン	△	=	△	△	△	○	北海道(91.2%)
ばれいしょ	○	=	=	△	△	△	北海道(99.9%)
さといも	○	=	△	△	○	○	宮崎(43.0%)、埼玉(17.9%)、千葉(10.4%)
たまねぎ	△	=	=	△	△	△	北海道(99.7%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い